

自画像(部分) 東京都美術館蔵 田端の崖(部分) 信(部分) デッサン 館蔵 詩集の天の戦慄(部分) 三重県立美術館蔵



村山槐仙

ガランスの悦楽 没後90年

2009年12月1日(火)~2010年1月24日(日)

展示期：前期12月1日(火)~27日(日) 後期1月5日(火)~24日(日) *全期中に一部展示替えがございます。詳細はお問い合わせください。
 開館時間：午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで) *金曜日は午後7時まで(入館は午後6時30分まで)
 休館日：12月7日(月)、14日(月)、21日(月)、24日(木)、28日(月)~1月4日(月)、12日(火)、18日(月)
 入館料：一般300円(240円) 小中学生100円(80円) *1) 団体10名以上、60歳以上および障がい者(行動)を含む)は無料 *本展土曜日は小中学生無料

此系との主母たしき淵の上に
 れ方に風打ふるふ時
 絶えず戦慄す大きく冷めたく
 心を恐れてかわが眼と情の光とを
 甘薄此系に煙草草を

昭和十一年一月十八日 江州にして

「(+)田端の崖」(+)田端の崖
 「(+)田端の崖」(+)田端の崖

渋谷区立松濤美術館 THE SHOTO MUSEUM OF ART

東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL03-3465-9421 <http://www.city.shibuya.tokyo.jp/> JR 渋谷駅下車徒歩15分、京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分

ためらふな、恥ぢるな

まつすぐにゆけ

汝のガランスのチューブをとつて

汝のパレットに直角に突き出し

まつすぐにしぼれ

そのガランスをまつすぐに塗れ

生きのみに活々と塗れ

一本のガランスをつくせよ

空もガランスに塗れ

木もガランスに描け

草もガランスにかけ

□□をもガランスにて描き奉れ

神をもガランスにて描き奉れ

ためらふな、恥ぢるな

まつすぐにゆけ

汝の貧乏を

一本のガランスにて塗りかくせ。

村山 槐 多

ガランスの悦楽 没後90年

22歳5ヶ月で逝った夭折の画家、村山槐多(1896-1919)の回顧展です。

早熟で多感な青年であった槐多は、絵画と文芸に独特の感性を發揮した、大正が生んだ異色の才能でした。浪漫性をたたえた表現、対象把握の凄みは、ほかの何ものでもない槐多の絵としか言いようがないものです。それは古代への憧憬と現実の恋情とが、絵画の源泉でした。京都、信州、田端、代々木と彼が見つめていた風景はさまざまですが、その眼差しの向こうにあるのは、一貫して精神の高みではなかったでしょうか。

高村光太郎に「火だるま槐多」と呼ばれ、みなぎる生命力をもてあましながらも死に向かうデカダンスをまとった槐多は、貧困と宿病のうちに烈しく短い生涯を駆け抜けました。彼の生き方は、近代が生み出した「夭折」という魅力的な姿を遺しました。美を具現化する方法として、槐多は個人感情の発露と表現とを融合して、あらたな絵画の姿を私たちにを見せてくれたのです。日本近代美術の青春期とも言えるこの時期、その存在は象徴的でさえあります。

今年槐多が代々木の「鐘下山房」で没してからちょうど90年にあたります。この機会にいまいちど、ガランスを愛した、この魅力あふれる圧倒的な才能を振り返りたいと思います。

油彩、水彩、素描、詩歌原稿のほかくピンクのラブレターなどの書簡類もふくめて約140点で構成した本展覧会によって、この画家の実像を感じていただけるのではないのでしょうか。

講演会 窪島誠一郎氏(信濃デッサン館館主)

「火だるま槐多を追って」12月5日(土) 午後2時

ギャラリートーク(当館担当学芸員による)

12月11日(金)・25日(金)・1月15日(金) 午後2時から

美術映画会

12月12日(土) 午後2時～3時「レオナルド・ダ・ヴィンチ」「東大寺」

1月16日(土) 午後2時～3時「ピカソ」「東大寺II」

美術相談

12月13日(日) 午後2時～4時 講師 舟橋淳司氏(水彩画)

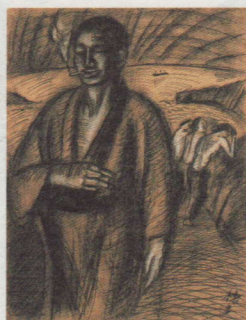
1月17日(日) 午後2時～4時 講師 佐藤善勇氏(洋画)



千曲川風景(信濃デッサン館蔵)



スキと人(府中市美術館蔵)



のらくら者(横須賀美術館蔵)



カンナと少女



尿する裸僧(信濃デッサン館蔵)



紙風船をかぶれる自画像



JR渋谷駅下車徒歩15分・京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分